

「中国語講座」3月で24年目迎える

TNC
通信

2023
2月号

卯年の一言

「兎を見て狗を呼ぶ」— “羊をうしないて牢をかたむるも未だ遅しとなさず” に続く言葉。手遅れだと思っても間に合うことがあるから、あきらめてはいけない。事が起こるのを待っての対策も遅くはないの意味。(『新序』雑事)

本年も「中国語講座」が始まりました。同講座が始まったのが1999年(平成11年)3月。もうすぐ24年目となります。(公社)日本中国友好協会の中でも数少ない講座の一つです。

今年は7人の会員が講師の横山弥生副会長を中心に学んでいます。ガツガツお勉強というより、会員同士の交流の場としてサロンのように雰囲気、近況報告や日本と中国の各種の話題で盛り上がり、有意義な時間となっています。

講座開設以来のメンバーや最近入講した会員もあり、初心者向けに発音記号や簡単な会話を学んだり中級者向けの文法も織り交ぜて学んだりしています。

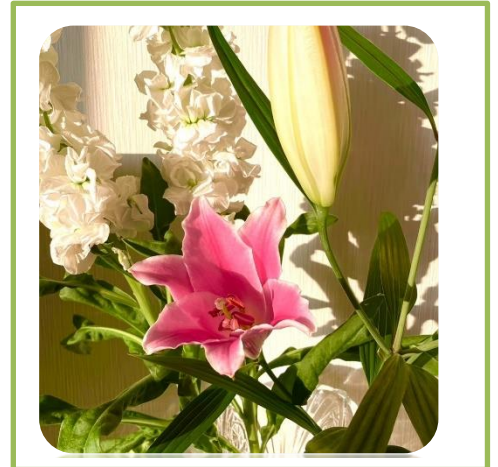
またこれまで講座メンバーで富谷の中華料理店で食事会を行った折には、将来は中華圏に旅行して中国語をためそう」と話し合い“いつか”を目標に、旅行会話も勉強しています。

土曜日午後1時半から3時半まで富ヶ丘公民館を会場に開催しております。ので、見学において下さい。

(休みの日もありますので、事前確認をお願いします。連絡は横山迄)。



写真投稿・越川富彦さん 「春を呼ぶユリ！」



「富谷市新年のつどい」に参加



1月5日、3年ぶりの“つどい”は飲食無しで開催。市スポーツセンターに約400人が参加。演奏や歌謡ショーも。富谷市日中からも中山会長、松田・渡邊・安住副会長、水戸理事長らが参加。

孫総領事が退任！ 富谷日中(中山会長宛)に届く

このたび十二月三十日をもって、中華人民共和国駐新潟総領事を退任いたしました。在職中は公私にわたり格別のご指導とご厚情を賜りましたこと衷心より厚く御礼申し上げます。

今後とも変わらぬご厚情を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様のご健勝とご多幸をお祈りいたします。

まずは略儀ながら、書中をもってお礼かたがた退任のごあいさつとさせていただきます。

孫 大剛



孫氏は三代目の新潟総領事として2017年2月に着任。2018年3月には富谷市役所表敬訪問と国交正常化45周年記念「日中友好—二人展」の観賞(写真中央。市長、富谷会員等と記念撮影)し、交流を深めました。

『曾国藩—「英雄」と中国史』 (岡本隆司著 岩波新書 968円)

曾国藩の名を知らない方も多いのでは。曾は李鴻の師匠であり、中国では死者数千万人と言われる内戦・太平天国の乱を平定した英雄。

本書は湖南省での生い立ちと背景を追いながら、科挙、官吏としての北京時代を経て、アヘン戦争そして洪秀全等の太平天国軍と湘軍との戦いを細かく記す中に文人、軍人



としての曾の生きざまを描く。曾の訃報に北京朝廷は人臣最高の太傅という名誉職を贈り中興の名臣たる文正公として顕彰している。唯難しい。